年　　組　　班
（代表者氏名　　）

知立市への政策提言

提言

知立市の道路を改修するための資金について

ねらい

○　知立東高校に登下校するにあたって危険だと感じる箇所が多くある。
○　愛知県自体、交通事故死者数は全国ワースト１位
○　知立市は交通量が愛知県内で５番目に多い道路がある
○　現在知立市内では年間約２５００件の交通事故が発生している
○　現在の知立市の道路には、事故防止の工夫が少なく、歩道も狭く凹凸が激しい道路が多いと感じる
○　知立市は第１１次知立市交通安全計画をおこなっている
○　それを元にして、知立市の交通の安全性を高めるための提言をおこなう
○　しかし、道路の整備には多くの費用が必要
○　なので、今回は資金調達と資金の使い道の決め方について提言する

方法

（資金調達）

１．ふるさと納税と同じシステム
２．マッチングギフト
３．知立市オリジナル記念日
４．路線（道路）にネーミングライツ

（使い方の決め方）

１．「Ｍｙ　Ｃｉｔｙ　Ｒｅｐｏｒｔ」
２．自動ブレーキ・急ブレーキデータの活用
３．市民散歩会

具体策

１．今あるふるさと納税とは区別した
　　交通整備基金用のシステムを作る
２．マッチングギフトの形式を使い、
　　より多くの寄附を募る
３．新たな記念日を作り、その日に知立市、企業が
　　屋台を出し、企業は参加費を知立市に払う
４．路線（道路）でネーミングライツを
　　行い、企業が広告費の代わりに市にお金を払う

１．知立市も「Ｍｙ　Ｃｉｔｙ　Ｒｅｐｏｒｔ」
　　というアプリを導入する
２．自動ブレーキ・急ブレーキの発生場所の
　　データを市に送信するシステムを作る
３．町内会ごとや学区ごとに散歩会行う。散歩会中に
　　地域の危険箇所を見つけ、データを蓄積していく

予想される効果

・知立市内外から資金が調達できる
・知立市の企業の広告の機会が増える

・市民の意見をより多く反映することができる
・自動的に危険箇所の把握ができる
・市民間でも危険箇所の情報を共有できる

課題

・一度にたくさん資金を獲得することが難しい

・新しいシステムを導入する必要がある
・企業と協力をして新しい技術やシステムの
　開発をしなければならない